

平成 27 年 3 月期 第 2 四半期決算説明会 説明会質疑応答資料

株式会社ハマキョウレックス

平成 26 年 11 月 11 日

アナリスト協会 3 階

①物流センター事業での受託案件規模が近年小ぶりの印象ですが、状況はいかがでしょう
か？

ここ最近、小ぶりの案件が多い状況でした。ただし、今期設備計画 80 億円を掲げており、直近では売上規模も大きい荷主様も出てきている状況です。

②物流センター事業での上期受託件数は 8 件との事ですが、下期見えている案件がありま
したら教えてください。

4 件ほど受託可能性の強い荷主様が出てきております。医薬・医療品関係で 3 社、雑貨で 1 社という状況です。

③貨物自動車運送事業での上期売上は、前期比プラスでしたが、通期見通しでは、前期比
マイナスとなっております。主な要因を教えてください。

昨年の増税対応による大きな物量がないことを想定して、通期見通しを作成しているた
めです。

④通期見通しは、繁忙期である第 3 四半期の状況のみをみて検討するとの事ですが、もう少し
具体的に見通しを据え置いた要因を教えてください。

第 1 四半期では、増税による在庫補充等により物量が多かったものの、第 2 四半期に入り
物の動きが少し落ち着いてきました。第 3 四半期以降も物の動きが弱いこともあり、一旦
据え置きをさせて頂きました。

第 3 四半期の状況のみを、検討させて頂きます。

⑤物流センター事業での第 1 四半期と第 2 四半期を比較すると利益率が落ちていますが、
要因を教えてください。

第 2 四半期において空きスペースが発生したセンターがございました。現在の状況として
は、10 月中旬から新規荷主様が入った状態となっております。

⑥今期設備計画 80 億円との事ですが、今後自社センターの比率は増加していく傾向でしょ
うか。

増加していく傾向です。物流センター建設は、主に東京、名古屋、大阪を中心に考えてお
ります。これは、仮に契約が終了した場合でも、都心であれば空きスペースリスクを極力

抑えることができると考えているためです。地方でもお客様と弊社でのメリットが取れば建設することも検討していきます。

以上